

2015/2016 あうるすぽっとタイプアップ公演シリーズ

作・構成・演出…杉本博司

# 春の便り

〔能「巢鴨塚」より〕

日時：二〇一五年十一月十一日〔水〕

十五時開演 / 十九時開演

会場：あうるすぽっと

〔豊島区立舞台芸術交流センター〕

主催：公益財団法人小田原文化財団

出演：杉本博司

余 貴美子

大島輝久〔能楽師シテ方喜多流〕

栗林祐輔〔能楽師笛方森田流〕

田邊恭資〔能楽師小鼓方大倉流〕

亀井洋佑〔能楽師大鼓方葛野流〕

作調：亀井広忠〔能楽師大鼓方葛野流〕

# 春の便り

能「巢鴨塚」より

「春の便り」によせて

—— 杉本博司

朗読劇『春の便り』は、能『巢鴨塚』のプロットとして書かれた。

言うまでもない事だが、能という演劇形式の最大の特徴は、登場人物の霊が時間を超越して現れ得ることである。私はこの手法を使って、先の大戦の記憶を、能の形式に置き換えておきたいと思った。我が国では、歴史は能という形式となつて、はじめて語り継がれる歴史となる。

今、あの敗戦から七十年という歳月が流れた。その時の流れは、壇ノ浦の平家滅亡から時を経て、鎌倉期に平曲として語られ始めた、その時の流れとはほぼ一致する。あまりにも生々しい歴史は、時間の濾過を通してのみ、物語へと昇華するのだ。私は今、その濾過の時が到来したのだとを感じる。

「春の便り」とは「ハルノート」を指す。私はA級戦犯として巢鴨に刑死した板垣征四郎の遺言を、謡曲として謡ってみたいと思った。その長文の遺言は漢詩として書かれている。板垣の霊は、焦土と化した祖国の獄中で、この国に春の便りが二度と届かないことを乞い願う。その板垣の願い通り、この国は永遠の冬に閉塞された国として、今、生息している。

盲目の僧の琵琶の音が、どこからともなく聞こえてくるようだ。

杉本博司 — プロフィール

1948年東京生まれ。立教大学卒業後、1970年に渡米、1974年よりニューヨーク在住。徹底的にコンセプトを練り上げ、精緻な技術によって表現される銀塩写真は世界中の美術館に収蔵されている。内外の古美術、伝統芸能に対する造詣も深く、人形浄瑠璃文楽公演「杉本文楽 曾根崎心中付り観音廻り」(2011)、三番叟公演「神秘域」(2011)の演出を手掛け、海外でも高い評価を受ける。今年秋には千葉市美術館にて個展「趣味と芸術／今昔三部作」を開催予定。1988年毎日芸術賞、2001年ハッセルブラッド国際写真賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞、2010年秋の紫綬褒章を受章。2013年フランス芸術文化勲章オフィシエ章受勲。

余貴美子 — プロフィール

1956年神奈川県出身。劇団オンシアター自由劇場、東京巻組を経て、映画・TVドラマへと活動の場を広げる。2008年、第63回毎日映画コンクール田中絹代賞受賞。映画「おくりびと」(2008)／滝田洋二郎監督、「ディア・ドクター」(2009)／西川美和監督、「あなた」(2012)／降旗康男監督で、第32回・33回・36回日本アカデミー賞最優秀助演女優賞を受賞するなど受賞歴多数。

◎ チケット料金  
4500円 [一般]

4200円 [豊島区民割引] (在住・在勤・在学/要証明書提示)  
※豊島区民割引は、前売のみ取扱

◎ WEB 先行発売日

8月14日 [金] ※ポッドキャスト宣言受諾の日

◎ 一般発売日

9月2日 [水] ※降伏文章調印の日

◎ チケット取扱い

あうるすぽっとチケットコール

<http://www.owlspot.jp/>

03-5391-0516 (10:00～19:00)

● お問い合わせ:

公益財団法人小田原文化財団

TEL 03-3473-5235 (平日 11:00～17:00)

<http://www.odawara-af.com>



- ・東京メトロ有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結
- ・JR他「池袋駅」東口よりグリーン大通り直進 徒歩10分
- ・都電荒川線「東池袋四丁目駅」より徒歩2分

あうるすぽっと [豊島区立舞台芸術交流センター]  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-5-2  
ライズアリーナビル 2F  
TEL 03-5391-0751 <http://www.owlspot.jp>

